

平成19年度
採択

女性中核教員養成 女子大学連合モデル

— 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム —

女性中核教員養成女子大学連合モデル

平成19年度採択 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

本プロジェクトは、女子大学連合が主体となり、男女共同参画社会の実現という理念の下、教育委員会等デマンドサイドの意向を反映し、学校現場において今後中核となっていくことが期待される女性教員の養成に向けた研修プログラムのあり方を研究・開発することを目的としている。

中核教員として
必要な資質向上

理論と実践
の応用

大妻女子大学

実践女子大学

昭和女子大学

学校経営講座群

女性エンパワー

女子大学連合 — 女性中核教員養成

取組の特徴 コンセプト

女子教育に伝統を有する大学の参加

複数の大学が参加する女子大学連合という特徴を活用し、各大学が設置している研究科の特性、専門性を発揮し、女性中核教員に必要な知識と女性教員に特化した授業科目を有機的に組み合わせる。参加大学は何れも伝統的な女子大学であると同時に、これまでも多方面にわたって協働の実績があり、多様なレベルで日常的な意見交換を図ってきており、プログラムの開発、提供に当たってこれを活用する。

デマンドサイドとの連携

現職の女性教員の潜在的な力を引き出すため、各大学と学校、教育委員会等の関係機関、民間企業、NPO、その他の関係機関が緊密に連携し、それぞれが特性を発揮しつつ、社会の要請とデマンドサイドの意向を重視した実践的教育を行う。

時間的、距離的制約の克服

各大学をサテライト的に活用することにより、受講者は職場あるいは自宅に最も近いキャンパスでプログラムに参加することができる。また、VOD講座を取り入れることにより、インターネット環境さえ整えば、受講生が自由に受講時間を選択することが可能となり、空き時間を利用した効率的な学習を行うことができる。本プログラムでは両者を有機的に組み合わせることによって、効率的なOJTシステム(オンザジョブトレーニング)システムの構築を目指す。

現場指向型 プログラム

知識の提供と実践力の育成を融合させた現場指向型のプログラムとして、【学校経営講座群】【女性エンパワーメント講座群】の二つのコンテンツをおく。

【学校経営講座群】

教育改革の動向/スクール・コンプライアンス/学校のアカウンタビリティ/スクール・マネジメント開発研究/生涯学習社会/環境教育/生徒指導・安全教育/カウンセリング・スキルの向上/地域・家庭との連携に基づく教育改善

【女性エンパワーメント講座群】

男女共同参画/女性教員の役割/女性教員のライフスタイル・キャリアパス

学 連 合

東京家政大学

日本女子大学

メント講座群

女性現職教員



これは、性の格差を直視した教育実践の最先端の協働という新たなチャレンジである。5女子大学による専門職養成への組織的な取り組み自体が新たな試みである。産学官民連携の時代であればこそ、共同する意義が非常に大きい。これを機に、各大学の女子高等教育の実績をもって女性中核教員養成のために共同し、その取り組みの可能性と将来性に大いに期待するものである。

(大妻女子大学長 大場 幸夫)



この度の「連合教職大学院」構想は、これまで多くの女性教員を世に送り出した実績を持つ5大学がそれぞれの特色を活かし、現代の教育現場の複雑多岐にわたる問題に対処できる高い資質と能力を持つ人材を育成しようとするものである。このように女子大学が連携して社会的な責務を担おうとするのは全く新しい取り組みであり、今後の女子高等教育の可能性を拓くものと確信するものである。

(実践女子大学長 湯浅 茂雄)



古くから女性がその特性を活かせる職業の一つとして、学校教員は多くの実績をあげてきました。男女共同参画の現代において、女性教員の役割はますます重要となります。しかしながら、現実には女性教員の数は多いものの、女性の管理職教員の数は、まだまだ男性の比ではありません。このような状況の中で、教員養成に定評のある5女子大学が「そのよさを活かしあい」共同で教職大学院を設置する取組は、非常に価値のある先駆的な取り組みだと思えます。

(昭和女子大学長 坂東真理子)



歴史と伝統を誇る5女子大学が、共同で教職専門職大学院を作るということは、大変意義深いことです。現在、様々な教育改革が進められていますが、今や、教育的諸課題の解決には、女性の側からの受容と発想が欠かせません。女性が、社会の一翼を担うという明確な意識を持つべき時代に来ており、そのためには、中核的立場も避けられず、しかるべき資質の涵養が求められます。それは女性のためだけではなく、日本の将来のために必要なことです。

(東京家政大学長 木元 幸一)



中等学校教員職は早くから、女性に開かれた聖職として大きな地歩を占めてきましたが、管理職は限られていました。近時、教育の社会的課題が増すなかで、女性教員、わけても女性管理職の果たす役割の重さはますます強く実感されてきています。教員養成の実績を誇る女子大学が連携することの意義は計り知れないものがあります。

(日本女子大学長 後藤 祥子)



■女性中核教員養成女子大学連合モデル

数多くの女性教員を送り出してきた5つの女子大学がスクラムを組み、学校教育の第一線で活躍する「先生」のキャリアアップを応援します。教員としてのライフステージを考慮しながら、教育委員会等デマンドサイドの意向を反映したプログラム開発を推進中です。学校経営の中核を担う女性教員が巣立つことを願っています。

プロジェクトリーダー
(日本女子大学 准教授 坂田 仰)

■お問い合わせ先

日本女子大学 教職大学院設置準備室

〒112-8681 文京区目白台2-8-1

TEL: 03-5981-3777 FAX: 03-5981-3778

E-mail:gs-kyou@atlas.jwu.ac.jp